

2022



学 校 要 覧



愛媛大学教育学部附属特別支援学校

Ehime University School for Students with Special Needs

〒790-0855 松山市持田町1丁目5番22号

TEL (089) 913-7891

FAX (089) 913-7892

ホームページ <https://tokushi.edc.ehime-u.ac.jp/>
Eメール tokushi@edc.ehime-u.ac.jp

愛媛大学教育学部附属特別支援学校 校歌

作詞 湿見 秀夫
作曲 井上 洋一

mf

1. いしとづちののやうまみのたあかおささのそ
2. ののうえにうおひひさままひひととつ
きみもわたらしのももひととつのいのち
おひさままいつでものみんなろののちな
ちちのやかさざりくこええかふざりくふふぞぞ
くくのととももははさたさすえあうみみん
ななががいみんでなものみこんこなろののちな
瀬戸内の海の青さのその向こうおひさま
君も私も一つのいのちおひさま
みんながいつでもみんなの力
1 石鎚の山の高さの
その上におひさま
君も私も一つのいのち
おひさまいつでもみんなの力
いのちのかぎり声かぎり
附属の友は支えあう
みんながいつでもみんなの力
2 瀬戸内の海の青さのその向こうおひさま
君も私も一つのいのちおひさま
おひさまみんなの心の中に
いのちやさしく声深く
みんながみんなの心の中に
附属の友は援けあう
みんながみんなの心の中に

目 次

I	学校概要	2
1	沿革	2
2	愛媛大学附属学校園の理念	5
3	本校の使命	5
4	本校の教育	5
	(1) 学校の教育目標	
	(2) 重点目標	
	(3) 経営方針	
5	学校運営の組織	6
	(1) 教職員の一覧表	6
	(2) 校務分掌	7
	(3) 学校防災全般	8
6	児童生徒数及び各部・学級編制	8
II	教育計画	9
1	教育課程表	9
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
2	指導の形態別週あたり授業時数表	10
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
3	日課表	11
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
4	年間行事計画	13
5	進路指導（卒業時年度別進路状況）	15
III	教育研究活動	16
1	研究の方針	
2	研究の概要	
IV	教育実習	18
1	年度別学生数	
2	本年度の計画	
V	入学者選考	19
VI	P T A・教育後援会・親の会	21
VII	津田山実習地・日常生活訓練施設「みかんの家」	22

I 学校概要

1 沿革

- 昭和42年4月1日 附属小学校に特殊学級1学級設置許可 教官1名配置
8月31日 第1回入学選考 4名入学許可
9月9日 持田地区元文理学部図書室にて授業開始、その後2名編入許可
- 昭和43年2月28日 昭和43年度入学選考 2名入学許可
4月1日 附属小学校特殊学級1学級増設認可 教官2名増員
持田地区元学生寮を教室に改造し移転
8月27日 編入学選考 8名入学許可
- 昭和44年3月18日 附属小学校特殊学級第1回卒業式 卒業生4名
4月1日 附属中学校に特殊学級1学級設置認可 教官1名配置
附属小学校特殊学級と同一校舎にて授業開始
第1回入学生徒10名
5月15日 言語障害児教育教員養成課程第1回教育実習開始
- 昭和45年4月1日 附属中学校特殊学級1学級増設認可 教官2名増員
4月12日 養護学校教員養成課程第1回教育実習開始
4月23日 教育学部教授会にて将来持田地区に養護学校を設置することを決定
6月29日 校舎新築のため城北地区元附属小学校跡へ移転 附属小中学校と離れ特殊学級単独行事を行うことになる
9月16日 養護学校設置将来計画のもとに鉄筋2階建（一部平屋）1,179m²の新校舎建築に着手
- 昭和46年3月10日 新校舎落成
3月16日 新校舎落成式
4月1日 附属中学校特殊学級1学級増設認可 教官1名増員
4月16日 養護学校設置準備委員会発足 養護学校設置に関する推進母体となる
9月1日 昭和47年度文部省計画に愛媛大学附属養護学校設置が認められる
- 昭和47年1月10日 愛媛大学教育学部附属養護学校設置政府案決定
3月18日 附属中学校特殊学級第1回卒業式 卒業生4名
4月1日 愛媛大学教育学部附属養護学校設置認可 小学部3学級32名、中学部3学級30名、初代校長・浅海忠教授外教職員14名にて発足
4月11日 開校式、第1回入学式 小学部5名、中学部5名
4月20日 附属養護学校父母と教師の会発足
9月3日 本館、高等部教室、作業室、体育館の新築に着手
- 昭和48年3月17日 第1回卒業式、卒業生小学部6名、中学部15名
3月30日 本館、体育館等 新築工事落成
4月1日 高等部1学級認可 教官3名増員
4月20日 高等部第1回入学式 入学生12名
9月11日 学校給食開始
- 昭和49年4月1日 高等部学年進行に伴い1学級増設 教官2名増員
1月10日 通学用スクールバス購入
- 昭和50年4月1日 高等部学年進行に伴い1学級増設 教官3名増員
- 昭和51年4月1日 第2代校長に中村章教授就任
4月10日 松山市北斎院町津田山乙223番地（約14,374m²）本校農園実習地として財務局より移管が決まる。以後、PTA、地元公民館有志の協力を得、特に日野PTA会長の厚志により造成に尽力する
- 昭和52年3月29日 津田山に教場1棟（129m²）完成、津田山実習地開場祝賀会を行う
12月16日 校地内の職員住宅を撤去し、運動場を新設 運動場開き小運動会を行う
- 昭和55年4月1日 第3代校長に永田幸令教授就任
- 昭和56年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下22名となる
7月1日 養護学校正門および水泳プール（20m 5コース、幼児用プール）が完成しプール開きを行う

昭和56年11月8日 創立10周年記念式典の挙行 記念誌「あゆみ」を発刊し、学校の歌を制定
11月30日 スクールバス買い替え

昭和57年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下23名となる

昭和58年3月30日 津田山実習地に農機具庫、作業教室（プレハブ）移設
4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下24名となる

昭和59年4月1日 第4代校長に塙本三朗教授就任
定数改善により教官1名増、校長以下25名となる

昭和60年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下26名となる

昭和62年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下27名となる

昭和63年4月1日 第5代校長に井原栄二教授就任

平成元年6月1日 津田山実習地に水田2aを造成する

平成3年11月24日 創立20周年記念式典を挙行する
創立20周年記念碑を建立、併せて校旗を制定し、記念誌「あゆみ」を発刊する
研究の集積として「養護学校の授業を探る」（明治図書）を出版、併せて記念
に時計を玄関に設置する

平成4年4月1日 第6代校長に久保木道子教授就任
定数改善により教官1名増、校長以下28名となる

9月1日 津田山実習地に「日常生活訓練施設」着工
11月20日 スクールバス買い替え

平成5年5月14日 日常生活訓練施設の落成式典を挙行し「みかんの家」と命名する

平成6年4月1日 第7代校長に井原栄二教授就任
8月10日 津田山実習地の貯水池改修工事が完成する

平成7年4月12日 校舎壁面補修、全面塗装第1期工事が完了する
4月28日 津田山実習地日常生活訓練施設屋外付帯施設開場式を挙行、「さつなんくわん」と命名

平成8年3月12日 情報学習室を新設し、関連機器を整備する
3月15日 園芸用温室を設置する
3月29日 校舎・体育館の全面塗装第2期工事及び南側塀の改修工事を完了する
4月1日 第8代校長に水町俊郎教授就任

平成9年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下29名となる
11月 学内ネットワークに接続する

平成10年1月27日 ホームページを開設する
4月1日 持田キャンパス、事務一元化開始

平成11年3月 納食室改造、ドライシステムとなる
6月30日 太陽光発電設備が完成する

平成12年4月1日 第9代校長に建川博之教授就任

平成13年7月 学校安全の為、正門に警備員を配置する
9月17日 創立30周年記念として「コンビネーション遊具」を設置する
11月11日 創立30周年記念式典を挙行する

平成14年3月14日 記念誌「あゆみ」を発刊する
3月 正門監視カメラ、生徒教室・特別教室に非常通報装置を設置する
4月1日 完全学校週5日制が始まる

平成15年2月7日 愛媛教育研究大会（養護学校の部）を平成14年度より2月開催として実施
3月31日 高等部用トイレの新設及び共通・小学部トイレの全面改修を行う
10月1日 校長事務取扱に金藤泰伸教育学部長就任
11月1日 第10代校長に山本万喜雄教授就任

平成16年3月31日 電気室の全面改修工事、正門改修工事、東塀のフェンス取り付け工事、プール
観覧席屋根の改修工事完了
4月1日 国立大学法人愛媛大学教育学部附属養護学校となる

平成17年7月2日 井戸水ポンプ設置
9月 中学部ベランダ全面改修工事、北棟屋上防水工事、小学部屋根塗装
12月 スクールバス買い替え

平成18年9月 緑の少年団活動開始

平成19年2月	小・中学部に空調設備が入る
4月	国立大学法人愛媛大学教育学部附属特別支援学校となる
11月	第11代校長に上岡一世教授就任
	高等部に空調設備が入る
平成20年4月	特別支援学校のセンター的機能の充実を図るために非常勤講師1名を配置
6月	愛媛大学教育改革推進事業（愛大GP）を受け、五校园が連携した特別な教育的ニーズのある子どもへの適切な支援体制の構築への取組を始める
9月	教育学部GPを受け、木工室、布工室に作業機械を設置する
	トランク買い替え
平成21年4月	調理室調理台4台・給湯設備の設置、作業学習（クリーン・農耕・印刷）実習器機の整備
	校務用コンピューター整備・地上デジタル放送対応テレビ設置
平成22年3月	教育環境整備（本館屋上防水シート改修、本館屋上手すりの塗装、本館1階廊下床改修、小学部玄関壁改修、通路舗装、自転車置き場屋根改修）
5月	愛媛大学教育改革推進事業（愛大GP）を受け、附属五校园の特別支援教育を重視した教育活動の推進について取組を始める
6月	中学部廊下床、排水溝改修、印刷作業室に空調設備が入る
7月	児童生徒用机・イス補充
平成23年2月	『将来の「働く生活」を実現する教育—キャリア教育に基づく支援内容・方法の検討一』（明治図書）を出版する
3月	教育環境整備（全館建具改修、月組・中学部トイレ全面改修、小学部資料室全面改修、女子更衣室・保健室・職員室・事務室の床改修、小学部シャッター改修、正門横及び運動場横通路外灯設置、正門カーブミラー設置）
4月	第12代校長に花熊曉教授就任
11月	愛媛大学教育改革促進事業の一環として、愛大GP研修会「授業のユニバーサルデザインについて考える公開授業とシンポジウム」を開催する
	創立40周年記念事業として、記念式典及び祝賀会を挙行する
平成24年3月	創立40周年記念事業として、記章・校旗等の新調、校歌の制定、記念誌「あゆみ」の発刊をする
8月	校舎等耐震改修工事着工
平成25年3月	校舎等耐震改修工事竣工
平成26年2月	平成25年度キャリア教育優良学校として、文部科学大臣表彰を受賞する。
4月	キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
8月	大学の学生向け情報基盤整備に伴い、各教室、情報学習室、印刷作業室等に22台のコンピューターが配置される
平成27年3月	給食受室、マルチルーム工事完了
4月	第13代校長に吉松靖文教授就任
	キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
平成28年4月	キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
平成29年3月	校務用コンピューターの更新（13台）
10月28日	愛顔つなぐえひめ大会（第17回全国障害者スポーツ大会）開会式式典演技に代表生徒出演
平成30年12月	東側フェンス工事完了
平成31年3月	校務用コンピューターの更新（10台）
4月	第14代校長に鷲原進教授就任
令和3年1月	プール改修工事完了
3月	GIGAスクール端末及びシステム納品
10月	高等部生徒用1人1台端末納品
11月2日	創立50周年記念式典を挙行する
令和4年3月	創立50周年事業として、国旗・式典用横看板の新調、記念誌「あゆみ」を発刊する

2 愛媛大学附属学校園の理念

愛媛大学附属学校園は、附属高等学校、教育学部附属幼稚園、同小学校、同中学校、同特別支援学校の5校園からなり、その特色と各校の取組を活用して、共通の理念による教育を実践する。

【共通教育理念】

「未来を拓く人材の育成」

子どもたち一人一人が能力を十分に發揮することによって自らの人生の可能性を拓くとともに、一人一人の特質を生かしながら未来社会の発展に寄与する。

【養いたい三つの力】 「ともに生きる力」「たくましく挑戦する力」「知を追い求める力」

3 本校の使命

学校教育法の規定及び愛媛大学附属学校園の理念に基づき、知的障がいのある子どもの教育を行うとともに、次の任務を果たすこととする。

- 教育の理論及び実際に関する研究並びにその実証を行う。
- 教育学部（以下「学部」という。）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、及び学部の計画に従い学生の教育実習や介護等体験を実施する。
- 附属校として実践的研究の成果を生かし、地域における特別支援教育のセンター的機能を發揮する。

4 本校の教育

(1) 学校の教育目標

「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」

【目指す子ども像】

- 自分のよさを生かし、自主的、主体的な生活のできる子ども
- 自分の思いや願いをもち、学校生活、家庭生活、地域生活、職業生活などの多様な生活の場で役割を果たし貢献できる子ども

(2) 重点目標

- ① 子ども一人一人の障がいの状態やニーズを把握して、発達的視点に立った適切な教育的支援を行い、子どもの可能性を最大限に伸ばす。
- ② 小学部・中学部及び高等部12年間の指導の連続性を重視した一貫教育を行い、自立し社会参加、就労するために必要な力を培う。
- ③ 家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を図り、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、就学前から高等部卒業後までの一貫した自立的支援に努める。

(3) 経営方針

① 授業の質の向上を目指す。

機能する最小の支援により、子どもが自ら考えて主体的に活動し、子どもの内面が育ち、子どもが変容する授業を行う。

② 研究の質の向上を目指す。

小学部、中学部、高等部12年間の連続性・系統性を重視し、研究過程と結果の見えるストーリー性の高い研究を行う。

③ 集団の質の向上を目指す。

子どもの集団、保護者の集団及び教師の集団の質を高める。

④ 連携の質の向上を目指す。

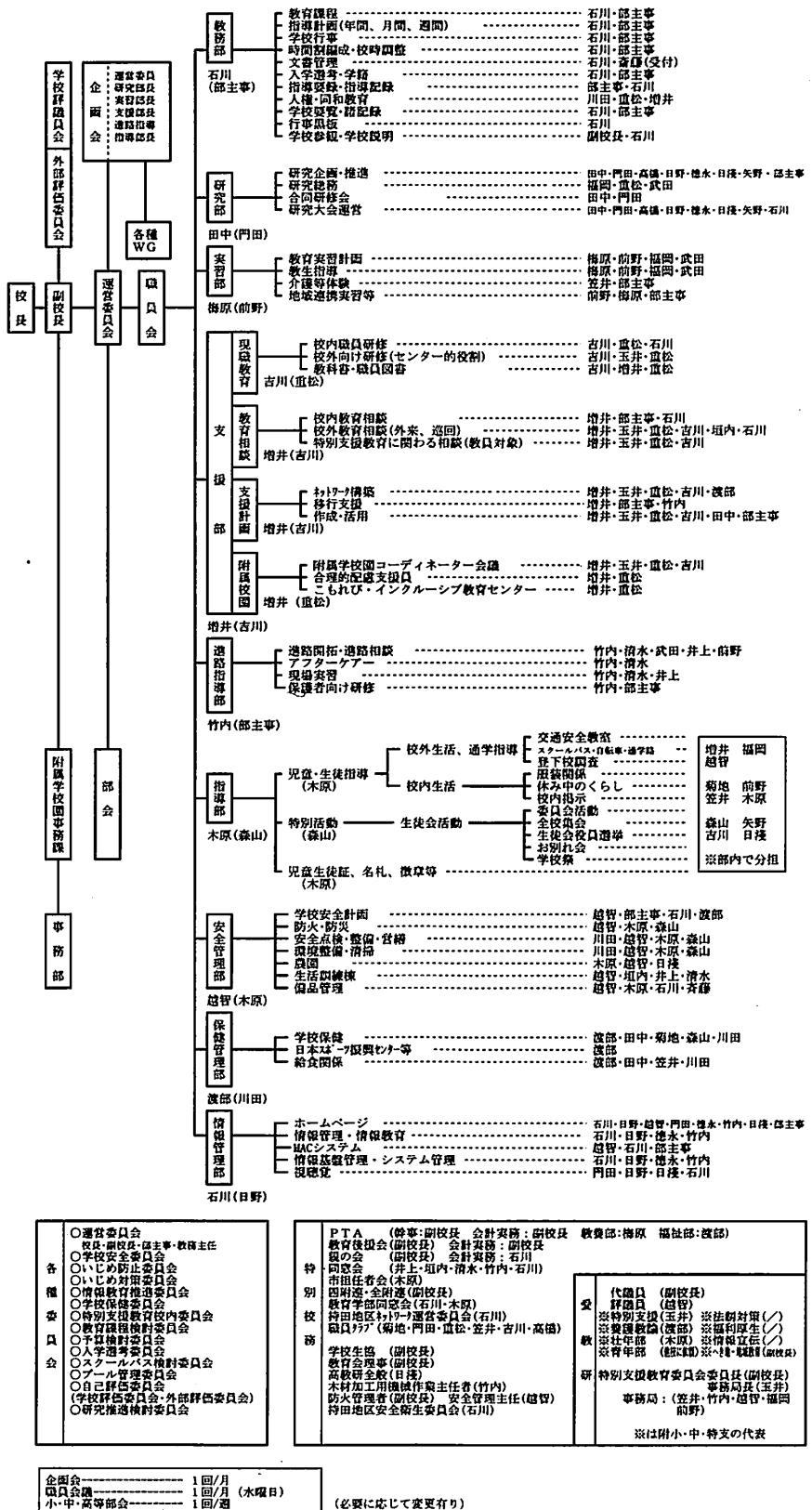
子どもを中心に据え、子どものための積極的で前向きな支援の連携を行う。

5 学校運営の組織

(1) 教職員の一覧表

職名	氏名	担当校務等
校長	鷲原 進	
副校長	山内 望	
教諭	垣内 育栄	小学部主事
教諭	井上真佐子	中学部主事
教諭	清水美智子	高等部主事
教諭	石川 圭	教務主任
教諭	玉井 淳子	小学部月組担任・特別支援教育コーディネーター
教諭	福岡 幸恵	小学部月組副担任
教諭	高橋 美紀	小学部花組担任
教諭	越智 政英	小学部花組副担任
教諭	日野 信彦	小学部星組担任
教諭	増井日登美	小学部星組副担任
教諭	田中 泰代	小学部・研究部長
教諭	徳永 祐介	中学部1年担任
教諭	笠井真奈美	中学部1年副担任
教諭	重松 万希	中学部2年担任・特別支援教育コーディネーター
教諭	門田 良介	中学部2年副担任
教諭	前野 麻記	中学部3年担任
教諭	菊地 弘明	中学部3年副担任・中学部生徒指導主事
教諭	木原 拓也	中学部
教諭	矢野 佐和	高等部1年担任
教諭	森山 政秀	高等部1年副担任・高等部生徒指導主事
教諭	吉川 志保	高等部2年担任・特別支援教育コーディネーター
教諭	川田 幸子	高等部2年副担任・人権・同和教育主任
教諭	武田 友希	高等部3年担任
教諭	日淺 優	高等部3年副担任
教諭	竹内 昭雄	高等部・進路指導主事
教諭	梅原万莉絵	高等部・教育実習部長
養護教諭	渡部 梨恵	保健主事
非常勤講師	和田 実華	センター的機能充実のための非常勤講師
教育支援者	赤岡 英子	中学部の学習支援
教育支援者	今川 承子	高等部の学習支援
合理的配慮支援員	日野 千恵	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	道上喜美子	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	森田 幸恵	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	田中亜由美	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
附属学校園事務課		
課長	越智 義明	
副課長	刈谷 彰司	
自動車運転手	久保田 卓	スクールバス運転
事務補佐員	斎藤 美和	附属特別支援学校事務
用務補佐員	坪田 真美	スクールバス添乗
事務補佐員	信高 雄一	津田山実習地・日常生活訓練棟「みかんの家」管理

(2) 校務分掌



(必要に応じて変更有り)

* 教科・領域等の各部担当者 (○が代表者) ※代表者の学部は変更可→変更後、副校長に報告

教科・領域等	小学部	中学部	高等部	教科・領域等	小学部	中学部	高等部	教科・領域等	小学部	中学部	高等部
日常生活指導	○玉井 前野	森山		作業 布工	一	重松	○川田	交流及び共同学習	垣内	○井上	梅原
遊びの指導	○日野	—	—	学習 園芸	—	笠井	○矢野	規範化教育	日野	○門田	日接
生活単元学習	高橋	○門田	古川	家庭・職業家庭	○増井	前野	矢野	情報教育	○日野	木原	竹内
作業	—	—	○梅原	春香	増井	井上	○朝日	図書室	○朝日	木原	日接
木工	—	門田	○清水	園工・英語	福岡	○木原	日接	図書室	—	○木原	梅原
クリーン	—	木原	○古川	保健体育	田中	○南野	川田				
印刷	—	前野	○武田	図鑑	垣内	○井上	竹内				
図書	越智	木原	○日接	自立活動	○田中	鹿永	武田				

(3) 学校防災全般

① 目的

- 災害に対して必要な準備と適切な措置により、災害を未然に防ぎ、またその被害を最小限に留める。
- 児童生徒・教育実習生等及び教職員の身体の安全を確保する。
- 重要物件等、学校財産の保全に努める。

② 行動計画

- 発見者は副校長室、事務室に通報し、次の組織により通報連絡、避難、消火にあたる。
- 組織



③ 避難訓練等の予定

(防火防災関係)

第1回 4月15日(金)	学校	避難訓練(火災を想定しての避難訓練)
第2回 7月22日(金)	みかんの家	避難訓練(避難誘導経路の確認・教員対象)
第3回 9月2日(金)	学校	避難訓練(地震・火災を想定しての避難訓練)
第4回 10月26日(水)	学校	持田地区合同避難訓練
第5回 1月11日(水)	学校	避難訓練(火災を想定しての避難訓練)

(不審者対策)

第1回 4月7日(木)	非常通報装置の作動確認と訓練(教員対象)
第2回 4月25日(金)	非常通報装置を使っての訓練

6 児童生徒数及び各部・学級編制

学部	小学校部						中学部			高等部			合計
	月組		花組		星組		1年	2年	3年	1年	2年	3年	
学級	1年	2年	3年	4年	5年	6年							
男	3	2	2	2	2	2	5	4	3	5	4	4	38
女	0	0	1	1	1	1	1	2	3	3	4	4	21
小計	3	2	3	3	3	3	6	6	6	8	8	8	59
合計	5												

II 教育計画

1 教育課程表

(1) 小学部

区分	組・学年	月組		花組		星組	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科	生 活	300	300	300	300	300	300
	国 語	120	120	145	145	145	145
	算 数	95	95	145	145	145	145
	音 楽	105	105	105	105	105	105
	図画工作	80	80	110	110	110	110
	体 育	105	105	105	105	105	105
道 德		35	35	35	35	35	35
特 別 活 動		35	35	35	35	35	35
自 立 活 動		35	35	35	35	35	35
合 計		910	910	1015	1015	1015	1015

(2) 中学部

区分	組・学年	1年	2年	3年
		国 語	105	105
各教科	社 会	105	70	70
	数 学	70	70	70
	理 科	70	70	70
	音 楽	70	70	70
	美 術	70	70	70
	保健体育	105	105	105
職業・家庭		245	280	280
道 德		35	35	35
特 別 活 動		35	35	35
自 立 活 動		35	35	35
総合的な学習の時間		70	70	70
合 計		1015	1015	1015

(3) 高等部

区分	組・学年	1年	2年	3年
		国 語	105(3)	105(3)
必履修教科	社 会	70(2)	70(2)	70(2)
	数 学	70(2)	70(2)	70(2)
	理 科	70(2)	70(2)	70(2)
	音 楽	70(2)	70(2)	70(2)
	美 術	70(2)	70(2)	70(2)
	保健体育	105(3)	105(3)	105(3)
職 業		280(8)	280(8)	280(8)
家 庭		70(2)	70(2)	70(2)
小 計		910(26)	910(26)	910(26)
道 德		35(1)	35(1)	35(1)
特 別 活 動		35(1)	35(1)	35(1)
自 立 活 動		35(1)	35(1)	35(1)
総合的な探究の時間		35(1)	35(1)	35(1)
合 計		1050(30)	1050(30)	1050(30)

2 指導の形態別週あたり授業時数表

(1) 小学部

区分	組・学年	月組		花組		星組	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科	生 活	—	—	—	—	—	—
	国 語	1	1	1	1	1	1
	算 数	1	1	1	1	1	1
	音 楽	2	2	2	2	2	2
	図画工作	—	—	—	—	—	—
	体 育	2	2	2	2	2	2
	小 計	6	6	6	6	6	6
各教科等を指導した合わせた指導	遊びの指導	3	3	2	2	2	2
	日常生活の指導	10	10	10	10	10	10
	生活単元学習	7	7	11	11	11	11
	小 計	20	20	23	23	23	23
道 德	—	—	—	—	—	—	—
特 別 活 動	—	—	—	—	—	—	—
自 立 活 動	—	—	—	—	—	—	—
合 計	26	26	29	29	29	29	29

(2) 中学部

区分	組・学年	1年	2年	3年
		国 語	社 会	数 学
教科別の指導	理 科	—	—	—
	音 楽	1	1	1
	美 術	—	—	—
	保 健 体 育	3	3	3
	職 業・家 庭	—	—	—
	小 計	4	4	4
	日常生活の指導	3	3	3
	生活単元学習	11	8	8
	作業学習	9	12	12
各教科等を指導した合わせた指導	小 計	23	23	23
	道 德	—	—	—
	特 別 活 動	—	—	—
	自 立 活 動	—	—	—
	総合的な学習の時間	2	2	2
	合 計	29	29	29

(3) 高等部

区分	組・学年	1年	2年	3年
		国 語	社 会	数 学
教科別の指導	理 科	—	—	—
	音 楽	1	1	1
	美 術	—	—	—
	保 健 体 育	3	3	3
	職 業	—	—	—
	家 庭	—	—	—
	小 計	4	4	4
	日常生活の指導	2.5	2.5	2.5
	生活単元学習	6	6	6
各教科等を指導した合わせた指導	作業学習	16.5	16.5	16.5
	小 計	25	25	25
	道 德	—	—	—
	特 別 活 動	—	—	—
自立活動	自 立 活 動	—	—	—
	総合的な探究の時間	1	1	1
合 計		30	30	30

3 日課表 (登校 8:40)

(1) 小学部

【月組 (1・2年)】

校時	月	火	水	木	金	
1	日常生活の指導					
2	ことば・かず			遊びの指導	ことば・かず	
	朝の運動		遊びの指導		朝の運動	
3	生活単元学習	遊びの指導	音楽		生活単元学習	
		生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習		
5	日常生活の指導					
6						

【花組 (3・4年)・星組 (5・6年)】

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	ことば・かず			遊びの指導	ことば・かず
	朝の運動		遊びの指導		朝の運動
3	生活単元学習	生活単元学習	音楽		生活単元学習
			生活単元学習	生活単元学習	
5	生活単元学習	生活単元学習	日常生活の指導	生活単元学習	音楽
6	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導

(2) 中学部

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	朝の運動	日常生活の指導	朝の運動		
2	作業学習A 木工班 布工班 印刷班 園芸班	作業学習B 農耕班	作業学習A 木工班 布工班 印刷班 園芸班	生活単元学習	1年
3					2・3年
4					作業学習C クリーン班
5		音楽	生活単元学習		生活単元学習
6		保健体育	総合的な学習の時間		

(3) 高等部

校時	月	火	水	木	金		
1	S H R						
	朝の運動			朝の運動	生活単元学習		
2	作業学習A 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班	作業学習B 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班	作業学習A 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班				
3							
4							
5	総合的な 探究 の時間	作業学習B 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班	保健体育	音楽	生活単元学習		
6			音楽	保健体育			

※作業学習Aは中学部・高等部合同で実施

4 年間行事計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 金	迎宮委員会 着任 合同新任式	回	水 企画委員会	金 企画委員会	回	木 始業式・表彰式 下校11:40 9月教育実習～14日
2 国	月	木 プール清掃	田	火	金 避難訓練（地震・火災）	
3 回	火 憲法記念日	金	回	火	田	
4 月	企画委員会	火 みどりの日	田	月	火	回
5 火	職員会議	火 こどもの日	回	火 校納金振替日	金 四附連代議員会・代表者会（徳島）	月 校納金振替日
6 水	各種係会	金 校納金振替日	月 現場実習説明会 校納金振替日	水 職員会議	田	火 給食停止日
7 木	引継ぎ 職員会 非常通報装置動作確認訓練	火 P T A 役員会 給食停止日	木 教育実習事前指導②	回	水	任命式・表彰式 企画委員会
8 金	入学式準備	水 学校説明会 職員会議	金	回 研究職員会	木	
9 田	月	木	火 ※えひめパラスポーツ 記録会（水泳）	火	金 [中・高] 委員会活動	
10 回	火	金	回	火	田	
11 月	新任式・始業式 入学式 下校11:40	水 [高] 胸部C R検査 職員会議	火 [高] 下校13:10・ 会員登録会・全館P連絡会 (県民健康フォーラム及びオンライン)	月 [高] 下校13:10・ 個人懇談	火 山の日	回
12 火	木 尿検査	回	火 下校13:10 個人懇談	金	月	
13 水	金 尿検査予備日	月	水 下校13:10 個人懇談	田	火 P T A 役員会	
14 木	火	火 [中] 現場実習・ 校内実習～17日	木 教育実習事前指導③	回	水	
15 金	避難訓練（火災）	水 [高] 現場実習～28日 研究職員会	金 研究職員会	回	木 職員会議	
16 田	月	木	火	火	金	
17 日	P T A 総会等 下校11:40	火 給食停止日	金 五校園P T A連絡 協議会（中止）	回	火	田
18 回	練替休業日	水 壮行会 研究職員会	回	火 海の日	火	回
19 火	新入生歓迎会 研究職員会	木 歯科検診 ※松山市 新担任者研修会会場	回	火 下校14:00	火 敬老の日	回
20 水	任命式 企画委員会	金	月	水 終業式・表彰式・壮行会 下校11:40 職員会議	田	火
21 木	下校13:10 大学附属合同研修会	火	火	火 夏季休業～8/31	水 参観日	
22 金	仲・親 類会議 下校10:10 離詠 西附連総会（東門）※書面決議	火 ※えひめパラスポーツ 記録会（陸上等）	水 金 避難訓練（みかん の家）・職員作業	火 企画委員会	木 ※教育センター初任者 研修会場 下校15:20	
23 田	月	木 心電図検査 (各部1年生)	火	火	火 秋分の日	
24 回	火	火 職員会議	金	火 魚つかみどり大会	火 入学希望者説明会 職員会議	田
25 月	下校13:10 家庭訪問 避難訓練(不審者対応)	水 感謝の会・報告会 耳鼻咽喉科検診	火	火	火	回
26 火	[高] 下校13:10・家庭 訪問 P T A 役員会	木	火	火 研究職員会	月	
27 水	眼科検診・色覚検査 (小6・中3・高3希望者) 職員会議	金 運動会準備 尿検査二次	月	火	火	
28 木	内科検診・ 運動器検診	火	火	火 関連支援ネットワーク会議	水	
29 金	昭和の日	日 運動会 下校12:00	水 金	火	木	
30 田	火 練替休業日	木 教育実習事前指導①	火	火	金 全別P連P T A研修会全道大会～10/1 中四田地区特別支援学校知的 障害教育P T A連合会研究協議会	
31	火 給食停止日		火	火		

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	火	給食停止日 持田地区4校 合同避難訓練（予備日）	木			回	元日	水		水	[高] 下校13:10・ 個人懇談
2	回	水 学校祭準備	金			回		木		木	下校13:10 個人懇談
3	月	10月教育実習～21日	木 文化の日 学校祭 下校12:00	木		回		金 下校11:40 愛媛教育研究 大会(幼稚園・小学校の部)	金	下校13:10 個人懇談	
4	火	PTA役員会 給食停止日	回 緑替休業日	回		回		回		回	
5	水	校納金振替日 企画委員会	回	月 校納金振替日	回	校納金振替日	回	回		回	
6	木		回	火 給食停止日	金		月 校納金振替日	月 校納金振替日			
7	金	臨時休業日(地方祭)	月 校納金振替日	水		回	火 給食停止日	火			
8	木	火 下校11:40 小学部入学選考	木 下校11:40 高等部入学選考	回			水 新入生説明会 企画委員会	水 企画委員会			
9	回	水	金		回 成人の日	木		木		木	下校14:00
10	回	10月 スポーツの日	木 下校11:40 中学部入学選考	木		火 始業式 下校11:40 職員会議	金	金	金	高等部卒業式 下校11:40	
11	火	金	回		水 避難訓練(火災)	回	建国記念の日 PTA作業交流	回		回	
12	水	職員会議	回	月	木		回		回		
13	木		回	火 下校13:10 個人懇談	金	任命式	月		月		
14	金	月 [中] 現場実習・ 校内実習～18日	水 下校13:10 個人懇談 生徒会役員選挙 企画委員会	回		火		火		火	
15	木	火 [高2・3] 現場実習～12/2	木 [高] 下校13:10・ 個人懇談 研究職員会	回			水 職員会議	水 職員会議			
16	回	水	金	月		木		木		木	
17	月	木 [高1] 現場実習～11/30	回		火 PTA役員会	金		金		下校14:00	
18	火	金	回		水 [中・高] 委員会活動	回		回		回	
19	水	回	月	木		回		回		回	
20	木	回	火	金		月		月		修業式 小・中学部卒業式 下校11:40 職員会議	
21	金	月	水	回		火 研究職員会	回	火		春分の日	
22	木	火	木 下校14:00	回			水 お別れ会	回		春季休業～4/10	
23	回		回 勤労感謝の日	金 終業式 下校11:40 職員会議	月		回 天皇誕生日	回			
24	月	研究職員会	木	回	火	金		金		金	
25	火	PTA聯場懇談会・ 現場実習説明会	金	回		水		回		回	
26	水	持田地区4校園 合同避難訓練	回	回 冬季休業～1/7	木 研究大会準備 PTA 清掃作業 下校13:10	回		回		回	
27	木		回	回	金 愛媛教育研究大会 (特別支援学校の部)	月		回		離任式 合同離任式	
28	金		月	回	回	火 PTA役員会	回				
29	木		火 PTA役員会	回		回				回	
30	回		水	回	月					回	
31	月		回	回	火					金	

5 進路指導（卒業時年度別進路状況）

年 度	性 別	中 学 部							高 等 部											
		就 職	本 校 進 学	他 校 進 学	訓 練 校 等	福 祉 施 設	在 宅	そ の 他	計	一般 就 労 (就職)		訓練 施 設 ・ 訓 練 校	福 祉 的 就 労 (福祉施設の利用)			在 宅	そ の 他	計		
										一 般 企 業	就 労 繼 續 A		就 労 移 行	就 労 繼 續 B	生 活 介 護					
S 47～ H24	男	10	163	4	2	3	5		187	289	103	1			81	11		196	321	
	女	5	91	4	1	0	1		102		62	3			50	10		125		
25	男		5						5	6	2	1		2	1			6	8	
	女		1						1						1	1				
26	男		3						3	6	2				1	1			4	8
	女		3						3		1				3				4	
27	男		4						4	6	4	1				3			8	8
	女		2						2										0	
28	男		3						3	5	2				3	2			7	8
	女		2						2		1								1	
29	男		3						3	6	2	1		1	1				5	8
	女		3						3			1			1	1				3
30	男		4						4	6	1	1	1		2				5	8
	女		2						2		1				2				3	
R元	男		3						3	6	3	1			1				5	8
	女		3						3		1	1			1				3	
R 2	男		3						3	6	2	1			1				4	8
	女		3						3		2	1			1				4	
R 3	男		4						4	6	2	1	1			1			5	8
	女		2						2		1	1			1				3	

※進路先区分の「一般就労（就職）」の中には、福祉施設の利用の就労継続支援A型事業所を含む。

III 教育研究活動

1 研究の方針

- (1) 知的障がいのある児童生徒の教育を効果的に行うため、常に児童生徒の実態把握に心がけ、理論に裏付けられた実践研究を継続する。
- (2) 研究の理論的な根拠・問題の究明については、論議を尽くして討議し、関連研究諸機関における専門的立場にある研究者の指導・助言を仰ぎ、研究の成果をより一層確かなものとする。
- (3) 教育学部・附属校園との連携を図り、互いに協力して研究を進め、特別支援教育における研究体制を確立する。
- (4) 県下の各種研究団体・研究組織と密接な連携を図り、各種の教育研究会に積極的に参加し、研究推進を図るように努める。

2 研究の概要

昭和48年度以降、研究実践を毎年研究集録としてまとめ、愛媛教育研究大会で発表している。以下は、これまでの研究主題及び研究集録を示す。

昭和47年4月～昭和48年5月

教育課程の編成 研究集録1

昭和48年6月～昭和49年5月

障害の多様化に応ずる養護・訓練の指導 研究集録2

昭和49年6月～昭和50年5月

障害の多様化に応ずる養護・訓練の実践事例とその課題 研究集録3

昭和50年6月～昭和52年6月

意思伝達力を高める指導（2か年研究） 研究集録4

昭和52年7月～昭和55年5月

身体的能力の向上を求めて（3か年研究） 研究集録5～7

昭和55年6月～昭和57年5月

生活力を高める指導（2か年研究） 研究集録8・9

昭和57年6月～昭和60年5月

生活に役立つことば・かずの指導（3か年研究） 研究集録10～12

昭和60年6月～昭和63年5月

意欲的な子どもを育てる指導 研究集録13～15

昭和63年6月～平成4年5月

一人ひとりが生きる指導内容・指導方法の改善（4か年研究） 研究集録16～19

※ 平成3年3月 「養護学校の授業を探る」を明治図書より出版（A5版 230頁）

平成4年6月～平成7年6月

一人ひとりの自立を求めて 一個々が生きる生活づくり（3か年研究） 研究集録20～22

平成7年7月～平成10年5月

社会性を育て、高める生活づくりを求めて 研究集録23～25

－個を見つめ、個に応じた支援のあり方に視点をあてて－（3か年研究）

平成10年6月～平成13年5月

主体的に生きる子どもを育てる 研究集録26～28

－個が生き、集団が生きる授業づくり（3か年研究）

平成13年6月～平成17年1月

子どもたちの豊かな生活を目指して（3か年研究） 研究集録29～31

※ 平成14年度から愛媛教育研究大会（養護学校の部）の開催日が第3学期となる。

平成17年2月～平成20年1月

子どものニーズにこたえる学校するために

－連携・協力体制に基づく自閉症児への支援の最適化を目指して－（3か年研究）

研究集録32～34

平成20年2月～平成23年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－キャリア教育の視点から12年間の教育内容の検討－（3か年研究）

研究集録35・36

※ 平成23年2月「将来の『働く生活』を実現する教育－キャリア教育に基づく支援内容・方法の検討」を明治図書より出版（A4版 165頁）

平成23年2月～平成25年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－小・中・高等部12年間の系統的なキャリア教育を推進するための授業づくり－（2か年研究）

研究集録37・38

平成25年2月～平成28年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－生活意欲・働く意欲を育てる授業づくりを通して、キャリア発達を支援する－（3か年研究）

研究集録39～41

平成28年2月～平成31年1月

地域で存在価値を示すことのできる子どもを育てる

－「自らの価値」を磨き、実感する確かな学びを通して－（3か年研究）

研究集録42～44

平成31年2月～令和4年2月

地域で豊かに生きる子どもを育てる

－地域と連携・協働し、貢献を実感する学びを通して－（3か年研究）

研究集録45～47

令和4年3月～

貢献を実感し、共に育つ子どもの育成

－学びをつなぐカリキュラム・マネジメントを中心に－

研究集録48

IV 教育実習

本校では、特別支援教育教員養成課程、学校教育教員養成課程等の副免、教育実践高度化専攻の学生等についての教育実習を行う。

1 年度別学生数

年 度	課 程	主 先 生	副 免 生				特 殿 教 育 特 別 専 攻 科	臨 時 看 護 学 校 教 員 養 成 課 程
			郵 学 校	幼 稚 園	小	中		
平成元	養 育 成 学 校 教 員 養 成 課 程	20	1	0	22	1	9	18
2		17	0	2	13	2	14	
3		21	0	1	9	1	17	
4		22	0	1	1	0	16	
5		21	2	3	8	0	14	
6		20	0	0	5	0	19	
7		(聴覚言語障害教育)		0	6	0	大学院教育学研究科 (特別専攻科)	
8		21	1	0	6	0	8	
9		19	4	0	6	0	9	
10		20	10	0	7	1	13	
11		(初等教育となる)		16		0	10	
12		19	7			0	8	
13		18	8			0	4	
14		20	12			2	8	
15		11	16			5	12	
16		9	9			7	11	
17		11	8				8	
18		11	8				6	
19		12	8				4	
	(発達障害教育教員養成課程)	(学校教育教員養成課程) 他						(特別支援教育コーディネーター専修) 11
20		11	8					
21		11	7					
22		10	8					
23		12	4					
24		14	2					
25		12	5					
26		13	2					
27		9	2					
28		11	9					
29	(令和元)	13	1					
30		11	0					
31		14	0					
		14						(特別支援学校教育専修) 2
2		16						教育実践高度化専攻 (特別支援教育コース)
3		15						その他 (他大学)
								0
								1

2 本年度の計画

対象	教育実践高度化専攻 特別支援教育コース	学校教育教員養成課程 他 (副免生)	特別支援教育教員養成課程 (主免生)
事前指導	指導講話 授業参観等 (6/30、7/7、7/14)		
実習期間	9月1日～9月14日	9月1日～9月14日	10月3日～10月21日
内容	第1週 ○観察参加 ○授業実習	○観察参加 ○授業実習	○観察参加 ○授業実習
	第2週 ○授業実習	○授業実習	○授業実習 ○他部実習
	第3週		○授業実習 ○他部実習
授業時数	1単位時間以上	1単位時間以上	2単位時間以上
単位数	2	2	3
その他	(配付物) 教育実習の手引き・学校要覧		

V 入学者選考

1 本校の使命

本校は、学校教育法の規定及び愛媛大学附属学校園の理念に基づき、知的障がいのある子どもの教育を行うとともに、次の任務を果たすこととする。

- 教育の理論及び実際にに関する研究並びにその実証を行うこと
- 教育学部（以下「学部」という）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、及び学部の計画に従い学生の教育実習や介護等体験を実施すること
- 附属校として実践的研究の成果を生かし、地域における特別支援教育のセンター的機能を發揮すること

2 本校の教育方針

本校は、学校の教育目標に「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」を掲げ、自主的、主体的な生活ができ、様々な場で役割を果たし貢献できる子どもを育てる。

3 募集人員

(小学校部) 若干名 (中学部) 若干名 (高等部) 若干名

4 選考

(1) 新年度入学者選考

小・中学部は11月上旬、高等部は12月上旬に行う。なお小・中学部については、欠員があれば再募集を行うことがある。

(2) 学期途中の転入学者選考

学期途中において定員に欠員のある場合、または、欠員の生じた場合は、転入学者選考を行うことがある。

(3) その他の転入学者選考

その他、特に転入学者選考の必要が生じた場合は、職員会議にかけ、校長がこれを決定する。

5 応募資格

- (1) 主たる障がいが知的障がいで、それ以外の障がいが特に著しくない者
- (2) 保護者の付添い、または、一人で通学が安全にできる者
- (3) 本校の使命や教育方針を理解し、賛同する保護者の子である者

6 願書受付期間

願書受付期間は別に定めるが、概ね選考日の2週間前の4日間とする。

(ただし、学期途中の転入学者選考については3日間とする。)

7 応募手続

(1) 提出書類

入学願書……………本校所定のものに保護者記入

生育調査書……………〃

学校（園）長調査書………本校所定のものに学校（園）にて記入

(ただし、未就学（園）児は、教育センターや児童相談所等で記入したもので代えることができる。)

(2) 入学検定料

規定により大学へ納入する。(小学部1,000円、中学部1,500円、高等部2,500円を郵便小為替で納入する。)

8 選考方法

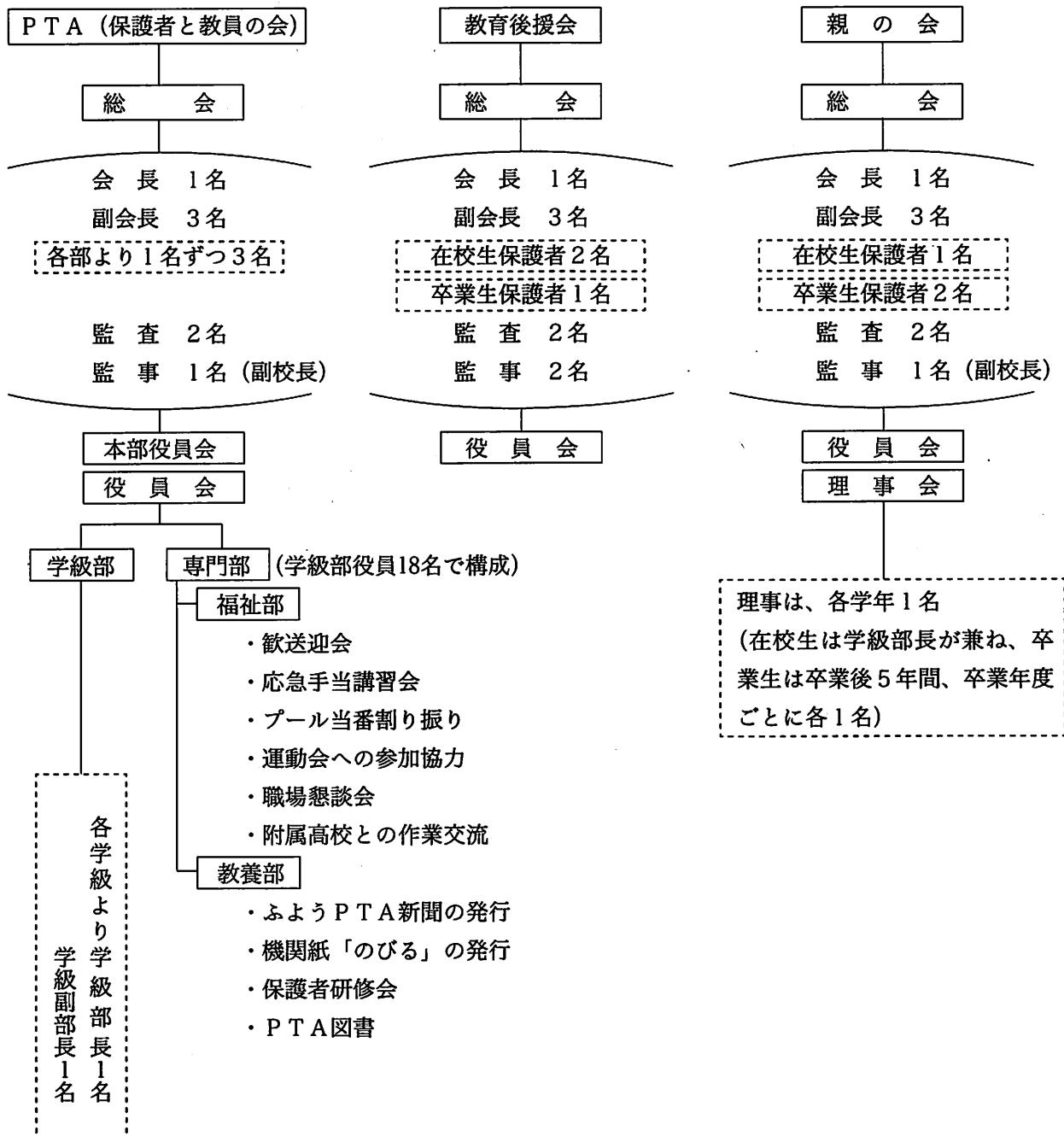
本校の使命に基づき、検査・面接及び調査書の内容等から総合的に判断して、入学者を決定する。

9 今年度入学者選考の日程(予定)

部	願書配付期間	願書受付期間	入学選考日
小・中	8月24日(水)～	10月11日(火)～14日(金)	小11月8日(火) 中11月10日(木)
高	8月24日(水)～	11月11日(金)～16日(水)	12月8日(木)

※入学希望者説明会を8月24日(水)午前中に予定しています。

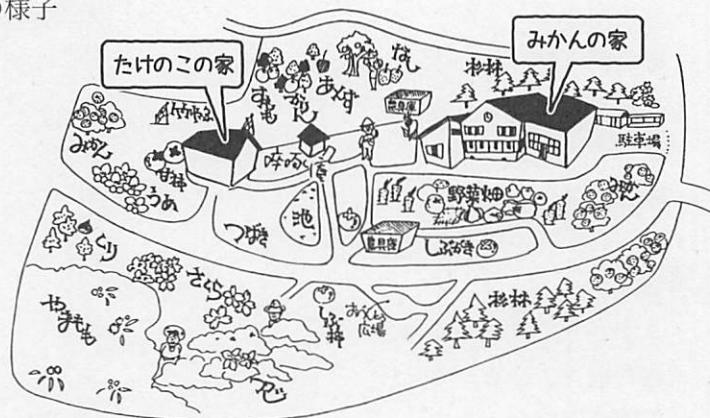
VI P T A・教育後援会・親の会



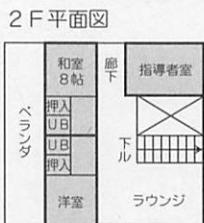
VII 津田山実習地・日常生活訓練施設「みかんの家」

- 1 所在地 松山市北斎院町津田山乙 223 番地
- 2 津田山実習地の沿革
 - 昭和51年 4月1日 松山市北斎院町津田山乙223番地 (14,374m²) に本校農園実習地として財務局より移管が決まる。
 - 昭和52年 3月29日 教場1棟 (129m²) 完成 (現 たけのこの家)
 - 昭和58年 3月30日 農機具庫、作業教室 (プレハブ) 移設
 - 平成元年 6月1日 水田 (2a) 造成
 - 平成4年 4月12日 「日常生活訓練施設」設置が認められる。
 - 平成4年 9月1日 「日常生活訓練施設」建設施工
 - 平成5年 2月22日 「日常生活訓練施設」の完成
 - 平成5年 5月14日 「日常生活訓練施設」の落成式典を挙行し、「みかんの家」と命名する。
 - 平成6年 8月10日 貯水池改修工事完成

3 津田山実習地の様子

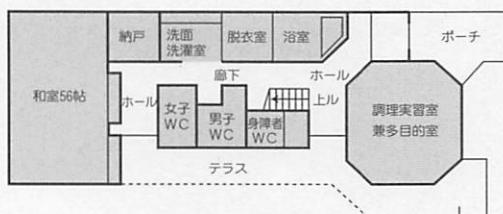


4 日常生活訓練施設「みかんの家」の施設概要

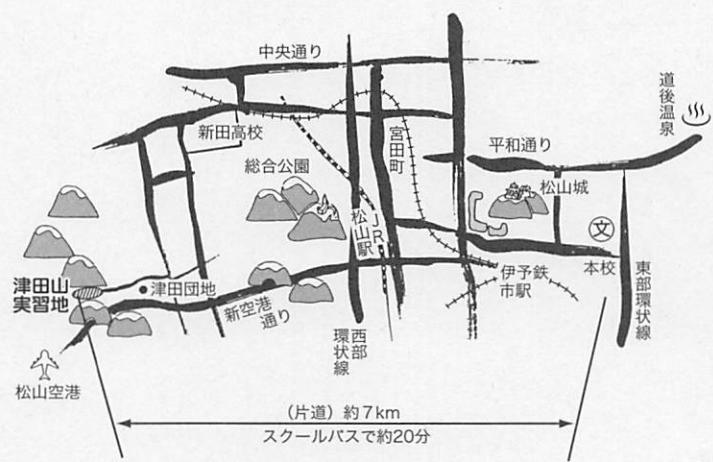


面積	
建築総面積	461m ²
1階 和室	99m ²
調理実習室 兼多目的室	66m ²
洗面・洗濯室	16m ²
脱衣・浴室	30m ²
2階 和室	21m ²
洋室	21m ²
ラウンジ	56m ²
その他	152m ²

1F平面図

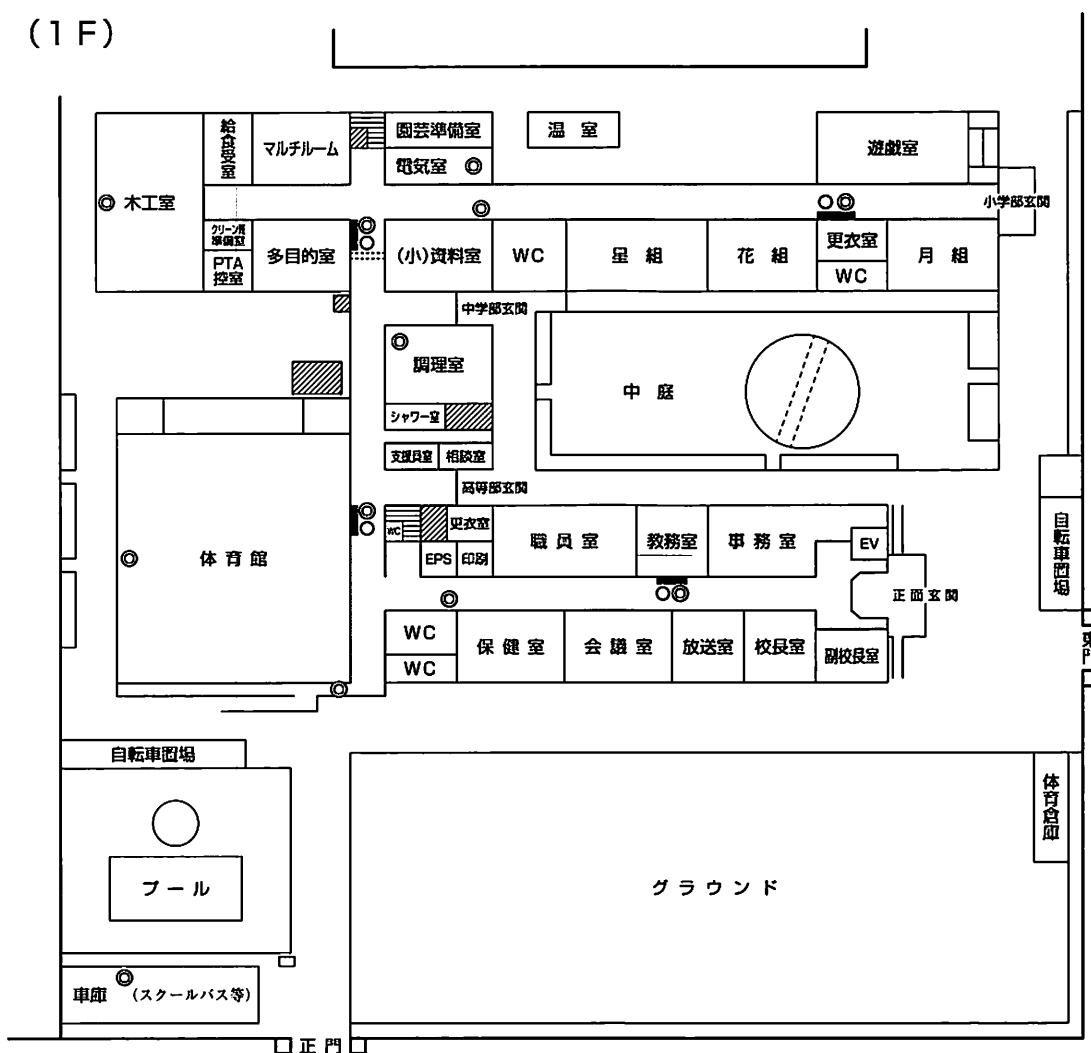


5 津田山実習地の場所



教室配置図（防火設備配置図）

(1F)



(2F)

